

令和5年度 横山地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和6年3月11日（月）午後6時から午後7時30分まで
 2 場 所 横山公民館 大会議室
 3 市側出席者 本村市長、石井副市長、萱野中央区長、榎本市民局長、高橋教育局長、兼杉中央区副区長
 4 出席委員等 16人
 5 傍聴者 6人
 6 懇談会の要旨

テ ー マ	横山地区内における児童の交通安全について
<p>概要</p>	<p>現在、横山地区周辺には規模の大きい物流倉庫が多く存在している。その背景には、圏央道が開通し、物流関連車両の利便性が大きく向上したことが考えられる。物流倉庫付近では、路上待機の大型車両が交通渋滞を引き起こし、交通の妨げになっている。併せて、出入口や交差点での危険を懸念していた中で、付近の交差点において自転車を巻き込む死亡事故が発生し、懸念が現実のものとなってしまった。また、横山台2丁目において大型マンションが建設中であり、通学路にある進入路の狭い交差点が建設現場の出入り口となっており、工事車両が頻繁に通行している。事業者により交通誘導員が配置され車両を誘導しているが、下校時には大変危険な状況である。</p> <p>中央区は自転車事故が多く、実際に地区内においても自転車利用の中高生による並列走行、スマホのながら走行、猛スピードで坂を駆け降りることなどのルール・マナー違反が散見され、重大な交通事故の発生が懸念される。</p> <p>これまで、地域と子ども達のつながりに重要な役割を担っていた子ども会（育成会）がほとんど解散してしまい、登下校時の安全確保や課題共有に必要な地域交流の基盤が大きく揺らいでいる。</p> <p>以上のような背景と実状から、今年度のまちづくり会議では交通安全対策に注力し、トラック交通安全教室の開催などに取り組んできた。ついては、今回の横山地区まちづくりを考える懇談会においては、地区内の交通安全対策、児童・生徒の登下校時の安全対策をテーマとし、ざっくばらんに懇談したい。</p>
<p>地区の取組状況等</p>	<p>まず、通学路等における危険個所の確認及び調査・改善に向けた取組として、横山地区では、コロナ禍による活動が大幅に制限されるなか、地域を見つめなおす活動として、安全・安心まちづくり推進協議会が中心となり、2020年から地区内の危険個所・修繕箇所の点検を行っている。</p> <p>実施内容としては次のとおりである。</p> <p>修繕が必要と見受けられる設備（外側線等の消失、ガードレールの腐食・さび、ゆがみなど）の地区内地図への落とし込みとリスト化を行った。</p> <p>改善優先度を付け、高いものについては市や警察への改善要望を実施。</p> <p>自分たちでできる対応として、注意喚起の横断幕の設置などを実施。</p> <p>このリストを土台として、改善に向けて継続的な活動に取り組んでおり、今回の懇談会テーマに繋がっている。</p> <p>次に、マンション建設事業者との協定書の締結を実施した。横山台2丁目にお</p>

	<p>ける大型マンション及び戸建て住宅の建設に対して、事業者と地区連・地元自治会で協議を重ね、令和5年7月28日、交通安全対策を趣旨とした協定書を締結した。</p> <p>また、トラックによる交通安全教室も開催している。令和5年4月、近隣で起きたトラックによる死亡事故をうけて、子ども達が交通事故に遭わないようにする最優先対応として、令和5年11月11日に横山小学校校庭において宅配業者の協力の下、トラック交通安全教室を開催し、約120名の児童や保護者に実際に運転席に乗ってもらい、左折時の死角確認、巻き込み事故防止のための位置確認を体験してもらった。</p> <p>最後に、横山地区独自の取組として、「横山Kizunaパーキング」について紹介する。医療・介護従事者の方が、高齢者のお宅を訪問する際に、周辺に駐車場がないという問題を解決するため、団地や個人宅等で空きのある駐車場を無償で利用できるという取組である。現在、対象となる駐車場は地区内に約70ヶ所あり、今後も拡充していきたい。</p>
<p>市の取組 状況等</p>	<p>はじめに、交通安全への取組については、現在、市では交通ルールやマナーを知ってほしいことから、保育園や幼稚園、学校等を対象に防犯交通安全指導員による交通安全教室を開催している。対象の年齢等に合わせ、歩行実技や自転車実技、交通安全に係る各種講話の実施、PTA等に対しては旗振りの指導など、昨年度は合計245回の教室を開催した。教室の申込み・問合せについては、交通・地域安全課で承っているため、是非ご活用いただきたい。今後は、現在行っている教室の内容等の見直しを行い、より実施団体のニーズに合わせた内容への改善を考えている。</p> <p>また、ご自身のSNSで自転車用ヘルメットの着用促進についての情報発信にご協力いただける方に対し、ヘルメットをプレゼントする事業を実施し、プレゼント数100個に対して、980件の応募があった。新年度には、新たな補助金制度の実施も予定している。市からの情報発信だけではなく、市民の皆様にもご協力をいただきながら、いろいろな角度からの効果的な情報発信を行っている。</p> <p>中央区役所では、昨年11月に開催されたトラックの交通安全教室の開催にも協力させていただいたように、地域の皆様の交通安全活動への支援をはじめ、区民・地域団体・事業者・行政機関が構成員となっている中央区安全・安心まちづくり推進協議会の一員として、各種交通安全キャンペーンや登校時の児童を見守る安全・安心パトロールなどの交通安全活動も行っている。また、中央区安全・安心まちづくり推進協議会に事業者として参加している相模原安全運転管理者会では、安全運転管理者法定講習会などの機会に、事業者向けの交通安全活動を行っていただいている。今後も地域の皆様と対話を深めながら、安全で安心なまちづくりに一緒に取り組んでまいりたい。</p> <p>児童の登下校時の見守りについては、教育委員会と警察署、土木事務所などが連携して安全対策を実施する「通学路交通安全プログラム」により、横断歩道の再塗装やグリーンベルトの設置など通学路の安全確保に向けた取組を行っている。また、学校からの申請により、信号機のない交差点などで登下校時の見守りを行う「学童通学安全指導員」を配置しているほか、保護者や地域の方で構成されている見守り活動団体に対して活動費の助成を行っている。このような市の取</p>

	<p>組の中、横山小学校においては、「通学路交通安全プログラム」を活用し、平成27年度・28年度に計4箇所、5件の改善要望があり、いずれも対応済みであるが、その後はコロナ禍であったこともあり、要望は受けていない。</p> <p>「学童通学安全指導員」については、配置希望箇所があるものの、地域での担い手が確保できず、PTAの皆様が中心となり日々の見守り活動を行っている状況である。</p> <p>今後について、横山台2丁目の開発に関しては、学校と連携して登下校時の安全確保に必要な対策を講じるとともに、このような開発行為の場合、開発者とあらかじめ協議する仕組みを構築する。また、市としては、さらなる安全の拡充が必要であると考えており、新たに2つの制度を令和6年度から実施する予定である。</p> <p>1つ目は、専門的な視点で通学路の点検や見守り活動者への指導を行う「スクールガード・リーダー」の創設である。このリーダーには、警察官OBなどを任用し、職務としては、通学路の安全確保に向けた取組の質の向上を図るとともに、「通学路危険箇所マップ」の作成を考えている。</p> <p>2つ目は、登下校時間帯に合わせて通学路を中心に犬の散歩をするなど、何かをしながら登下校中の児童を見守る「ながら見守り活動」制度の創設である。この制度にご協力いただける方は、登録制とし、全市的な展開を図っていきたいと考えている。</p> <p>この2つの制度を新たに実施することで、地域の皆様のご協力も引き続きいただきたいながら、児童の登下校時の安全確保に努めていく。</p> <p>引き続き、地域の皆様の意見に耳を傾け、それぞれの地区に合った取組を検討していきたい。</p> <p style="text-align: right;">(石井副市長)</p>
--	--

懇談内容	
<p>地区の発言</p>	<p>交通安全については、歩車分離という大原則のもと、まちづくりを進めていただきたい。その中で、市に御礼と要望がある。横山地区内で交通事故発生危険がある箇所として、横山台2丁目のマンション開発に伴うマンションの歩道状空地が、横山台公園入口の部分で途切れることとなるため、公園内に歩道を作りたいと、以前公園課に要望したところ、前例がないため歩道を作ることは難しいが、代替策として、公園のフェンスを外し、公園内を安全に通行できるよう対応していただいたことに感謝申し上げます。要望としては、横山小学校の裏に歩道があるが、徐々に狭くなり、歩道を降りないと通行できないようになっている。その部分は、横山小学校の敷地内ではないかと思われるため、歩道を拡張していただくなどの対応ができないか、検討していただきたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>先日、他地区で開催された福祉団体の懇談会に参加した際、狭くて通れない歩道があり、交通量も多く、車椅子での通行は非常に危険であると感じた。横山小学校の裏の歩道については、教育委員会と道路関係の担当課で共有し、対応を検討させていただきたい。</p> <p style="text-align: right;">(石井副市長)</p> <p>横山小学校の裏の現場についての状況を、担当課と確認させていただく。歩道が小学校の敷地内ではないかということで、児童の安全を考え、修繕等の対応が可能か、検討したい。</p> <p style="text-align: right;">(高橋教育局長)</p>

<p>地区の発言</p>	<p>横山小学校南交差点や、南橋本4丁目交差点は、交通量が多く、青信号の時間が短いため、登校の際に児童の列ができてしまう。特に雨の日には児童の列で渋滞が起き、大変危険な状況となる。交通事故を防ぐため、横断歩道を速やかに渡るよう、PTAや保護者の方々にご指導いただきたい。</p> <p>また、現在、国でも自転車事故への対策が練られているが、免許を持っていない方の自転車運転に危険性があると考え。自転車で歩行者のいる横断歩道を渡る際は、一度降りなければいけないが、そのようなルールを守れていない人が多い。そのため、免許を持っていない方向けに、自転車の乗り方の講習会を開催していただきたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>交通・地域安全課にて、警察OBによる交通地域安全教室を開催している。昨年度は245回開催しており、主に保育園児や小学生向けの講習依頼が多い。信号の渡り方についても、歩行者向けの教室を開催している。講習内容についての要望をお寄せいただき、ニーズに合わせて交通安全教室を開催したい。</p> <p style="text-align: right;">(榎本市民局長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>横山小学校南交差点の信号については、数年前に、信号の点灯のタイミングの改善を要望しており、青信号で渡れる時間を長くする対応をしていただいた。ハードの面から見たときに、交差点の構造を変えるというのは簡単なことではないため、横断歩道の渡り方について、分散型登校等の対策を、学校やPTAだけではなく、行政や警察も含め、検討していきたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>本市は、平成22年に政令指定都市となり、その際にまちづくりセンターの運用が開始されたが、交通安全も含め、人々の生活に合わせて、きめ細かにまちづくりを行うことが重要であると考え。開発や工事については、専門の部署でしかできない部分もあると思うが、地区の安全が脅かされるようなことがあれば、中央6地区まちづくりセンターの地域政策担当者にご相談いただきたい。課題に対して区役所として対応できることを、庁内の担当課と連携して一緒に考えていきたい。</p> <p style="text-align: right;">(萱野中央区長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>高齢者の交通安全も課題であり、自転車運転の違反について罰則が適用されるという話も出ている。その中で、令和6年度に、横山地区内の5ヶ所で、自転車の乗り方等について高齢者向けの交通安全教室を開催するため、周知させていただきたい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>市民の皆様を守る事が市の務めである中で、日頃からそのような取組をしていただき、心から感謝申し上げます。今後も地域の皆様と共に歩みを進めていきたい。</p> <p style="text-align: right;">(石井副市長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>交通ルールについて、自転車運転の違反に関する条例を作っていただきたい。罰則を設け、市民に交通ルールを知っていただくことで、事故を減らすことができると考える。</p>
<p>市の発言</p>	<p>市としては、まずは交通安全の啓発から始めたいと考えており、罰則を設けるということについては、実態に即して見る必要があるため、ご意見として受け止める。</p> <p style="text-align: right;">(石井副市長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>公園内を安全に通行できるようにした、というお話があったが、公園は災害時の一時避難場所でもあるため、動線の確保は非常に意義のあることだと考える。</p> <p>また、草木が成長しすぎている街路樹が所々にあり、車両運転手から歩行者が</p>

	視認しづらいため、緑化施策や予算等の問題もあるかとは思いますが、大通り近くの街路樹は優先的に伐採するなど、視界の確保について検討していただきたい。
市の発言	街路樹については、倒木の事例も散見されており、安全性を担保するため、本日いただいた街路樹の適正管理についての意見を、担当部局へも伝えさせていただく。 (本村市長)
地区の発言	本日の懇談会では、提案させていただいた数々の課題について、行政として真摯に様々な取組をしていただいて、新しい制度も作るということをお話いただき、有意義な会となったと思う。市長も、忌憚ないご意見をいただきたいとおっしゃっており、今後も、様々な提案をさせていただきながら、横山地区として交通安全対策に取り組んでいきたいと考えており、引き続きご指導のほどお願いしたい。

市長の感想等	<p>皆様から貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。スクリーンを使用し、AIを駆使したご説明をいただき、大変分かりやすいプレゼンテーションであった。</p> <p>テーマである児童の交通安全について、市内にはインターチェンジが4つあり、非常に物流が集中しているため、私自身が市長に就任した際、課題について話し合ったこともある。市民の安全を第一に今後も検討してまいりたい。横山小学校南交差点や南橋本4丁目交差点についても、調べていきたい。</p> <p>また、令和6年度予算が3月19日に可決した場合、ヘルメットについて1個3,000円まで市が負担することとなり、インターネット等では、1個約3,000円で買えるため、ほぼ100%市が費用を出すことができる。全国のヘルメット着用率が約13.4%という中で、市内の着用率は約8.8%と、少し低い状況であるため、まずは着用率を上げていきたいと考えている。</p> <p>私自身、令和元年東日本台風への対応や、国内で初めての新型コロナウイルス感染症の陽性者を確認し、3年強にわたってワクチン接種等の対応を行った。こうした先行きの読めない中で、前例踏襲をやめ、市職員8,000人に対し、とにかくチャレンジしようと伝えている。連続性のある歩道や公園の活用等について、さっそく、明日、横山台公園と横山小学校裏の現場状況を確認したい。現場主義が重要であり、公園は、子どもたちからシニア世代の方々まで喜んでいただけるような遊具等も必要であると考えており、今後、様々な取組を検討していきたい。</p> <p>横山小学校南交差点については、横断歩道を渡りきるということ、保護者の方々や学校と連携して、児童に指導していく必要がある。今後も、マンションや社宅が建設される関係で人が集まるため、交通事故を防ぐ対策を考えたい。私自身、県議会議員であったときに、相模原中等教育学校の周辺で、人の滞留が起きるということで、セットバックをお願いした事例があるが、そのような対応も検討する必要がある。</p> <p>自転車のルールについては、中央区と南区は、自転車事故が非常に多い地区として県から指定されており、マナーアップの徹底が重要であると考えている。交通安全教室において、自転車の車道の左側走行などの基本ルールの徹底をしっかりと行っていきたい。また、罰則については、石井副市長から話のあったとおり、ご意見として受け止めさせていただく。</p>
--------	---

横山小学校南交差点については、ハード面、ソフト面から見て、分散型登校等について議論する必要がある。先ほど、萱野中央区長から話のあったとおり、地域の課題について、まちづくりセンターに遠慮なくご相談していただきたい。また、街路樹については、根上がりや、西門でソメイヨシノの木が倒れる等の問題が起きているため、しっかりと対応できるように令和6年度も努めてまいりたい。

最後になるが、皆様からいただくご意見に対応しながら、顔の見える関係の中で勉強していきたい。まちづくりを考える懇談会は年に1回ではあるが、皆様と対話を重ね、安心・安全でワクワクする相模原をつくっていくとお誓い申し上げます、本日の御礼の挨拶に代えさせていただきます。 (本村市長)